

人と暮らし
環境に優しい
福祉社会の実現

ふくいろうふく

改装第20号

2006年4月25日発行

発行 福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
編集 機関紙編集委員会
発行人 龍田清成

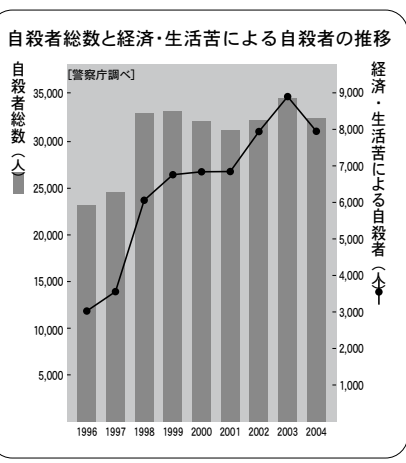
開始 クレ・サラの金利引き下げを求める運動

① 出資法で認められている上限金利は29.2%ですが、民事上有効とされているのは利息制限法(15~20%)による貸付で、その間の金利はグレーゾーン。制限金利を超えても罰則がないため、平均25%もの高金利を取っているのが現状です。

② 公定歩合が0.1%。銀行の貸出金利が年2%以下に對して、クレジット・サラ金の金利は銀行金利の10倍以上。出資法の上限金利を、利息制限法の制限金利まで早急に引き下げるのが不可欠です。

③ 2003年7月にヤミ金融対策法が制定されたとき、出資法の上限金利はこの法律の施行後3年を目途に見直すことが決まりました。いよいよ来年1月、上限金利の引き下げなど、法改正に向けて運動の強化・拡大をしていきましょう。

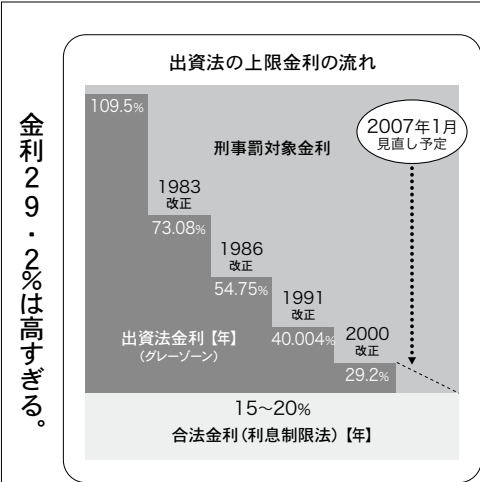
多重債務に苦しむ仲間を救おう!



可愛い犬が首をかしげ、“事前にしっかり確認しよう”というテレビの宣伝。サラ金と称される他の会社も、これでもかという程の広告を流していますが、その爽やかそうな世界のウラでは、利用者が多く苦しみ、自殺する人が多勢います。決して早くはありませんが、金利を引き下げる等対策を求める行動を始めました。

署名しよう!
年間約8000人!!
経済・生活苦の自殺者

クレジット・サラ金の利用者は年間2000万人以上で、国民の6人に1人が利用していることになり、リストラ・業績悪化による収入減、悪徳商法の被害など様々な原因で多重債務に陥り、人生を狂わせてしまう。厳しい取立てから逃れるために勤務先を辞める、金銭トラブルから離婚する、返済苦のために罪を犯す...。2004年の経済・生活苦による自殺者数は7947人。平均すると1日21人以上。職場の仲間を守るためにも、クレジット・サラ金問題をみんなで考えましょう。



現在、多重債務者は50~200万人いると推定されています。多重債務に陥る最大の原因は「高すぎる利息」。現行の法制は出資法のほかに利息制限法があり、ほとんどのクレジット・サラ金業者は出資法と利息制限法の間にある金利を活用。2003年7月にヤミ金融対策法が制定されたとき、出資法の上限金利はこの法律施行後3年を目途に見直すことが決まりました。来年1月まで、上限金利の引き下げなど、法改正に向けて運動の強化・拡大をしていきましょう。

署名しよう!
2007年1月法改正
上限金利の引き下げを

県内においても対策を求める行動を開始しています。そのひとつは、各組合や家族に対する署名要請です。一千万人を目標に、各産別組合本部から届けられています。ふたつ目は、県内各自治体議会における意見書の採択を要請する行動です。これは五月中旬頃五日間に亘って実施します。

労働問題基礎講座

毎年各地域単位で開催している講座を、二月に集中して開講しました。回を重ねる毎にテーマが減少していきませんが、今回は「職場におけるメンタルヘルス」を希望した会場が多くあり、専門医師の話を聴きました。

◎内容を理解できた97%

これまでになく好評でした!!

今回初めてアンケートをお願いしました。参加者の63%にあたる人が回答して下さい、一応理解できた人は97%に達しました。意見の中にはテーマについての要望もあり、次回への参考とします。ただ労働に関係することに絞っているので理解して下さい。

皆さん1,000万署名に全力投入を!!

(アンケート結果)

年代	10~20代	30代	40代	50代	60代	計
性別	40	109	81	59	5	294
理解	244	50				294
理解	良く理解	少し理解	不理解	その他		
理解	107	178	6	3		294
媒体	組合	市町広報	その他			
媒体	287	3	4			294
以降	次も参加	わからない	不参加			
以降	174	112	8			294

(開催結果)

開催日	開催場所	テーマ等	講師名	参加人数
2006. 2. 3 (金) 18時30分~	坂井町地域交流センター	職場におけるメンタルヘルスケア	松原病院 松原 六郎 氏	75名
2006. 2. 7 (火) 18時~	勝山労働福祉会館	サラリーマン増税(税金)問題	合同経営会計事務所奥越支所 道屋 壽次 氏	39名
2006. 2.10 (金) 18時30分~	あいあいプラザ	サラリーマン増税(税金)問題	合同経営会計事務所奥越支所 道屋 壽次 氏	72名
2006. 2.10 (金) 19時~	小浜市労働福祉会館	職場における健康管理	津田コンサルタント事務所 津田 直昭 氏	70名
2006. 2.16 (木) 18時~	大野労働福祉会館	労働時間、割増賃金をめぐるトラブル事例と労使協定のあり方	社会保険労務士乾事務所 乾 滋 氏	34名
2006. 2.18 (土) 10時~	ユニオンプラザ福井	職場のメンタルヘルスケア	福井県労働衛生センター付属診療所 児泉 肇 氏	83名
2006. 2.24 (金) 19時~	越前市労働福祉会館	サラリーマンと税金	山田寿治税理士事務所 山田 寿治 氏	53名
2006. 2.26 (日) 10時~	富士屋会館	過重労働・メンタルヘルス対策の進め方	あらい内科クリニック 新井 芳行 氏	41名
計				467名



ワンストップサービスにむけ胎動

労福協と連合は、全国各都道府県において、労働者や市民のあらゆる相談に対応できる組織づくりを目指しています。ワンストップサービスとは、相談事に対して原則一回で解決できる、という意味を持つものであり、正式な名称はこの先決めていくこととなります。

地域における現状

- 私たちの周囲には、次のような事象があります。
 - 失業・不安定雇用の拡大と社会保障制度の危機
 - 企業の総額人件費削減←パート・派遣
 - 契約労働者など不安定の増大←労働組合組織率の低下(2004年推定組織率19.2%)
 - フリーター、ニートの増加←社会保障未加入、未納の増大←社会保険の空洞化
 - 正規従業員不足←長時間労働、過労・ストレス増加
 - 少子・高齢化の一層の進行
 - 子育て支援・介護システムの遅れ
 - 女性労働者、パート等労働者の増加←組織化の遅れ
 - 人口減少、高齢者人口の急増←労働力減少
 - 家族の支え・企業福祉・公共事業の限界
 - 少子化、核家族化←高齢家族、単身化
 - 地域コミュニティの崩壊
 - 日本型雇用システムの変化←企業内福祉の抑制の遅れ

とりくむべき課題

- ① 連合
 - 組織率20%未満の危機突破
 - 労働運動の再生・活性化
 - 労働運動、労働者福祉運動の再結集をはかり、ネットワーク化での総力戦で挑戦。(連合、労福協、労金、労済、志を同じくするNPO等)
 - 「地域社会に貢献する連合運動」をめざし、地協の再編と専従者配置による取り組み推進。
- ② 労福協
 - 事業団体、労働団体、NPO、ボランティア等とのネットワーク化の推進
 - 福祉なんでも相談活動の全国展開
 - 退職者・高齢者との連携・支援、団塊世代の地域活動参加への支援
 - 現在進めている各取り組みの一層の強化・拡充
- ③ 労働金庫
 - 連合、福祉事業団体、NPO等との連携を強め、労働者ネットワーク網を構築。

福井における四団体協議の場をつくる

三月二十三日、労福協、連合福井、労働金庫県本部、全労済福井の四者代表が協議し、この先のネットワークにむけての基本的な合意がなされました。そして次のような手順を進めます。

- ◇ 連合、労福協、労働金庫、全労済などによる連携(ネットワーク化)を強化することで、多様な活動と地域における安心システムの構築に貢献することを目指す。
- ◇ このため、連合が「地方連合会・地域協議会改革の具体的実施計画」(第9回大会議案)で示す全

- 新規加入会員の拡大、若年・女性、組合に組織されない一般労働者との取引促進。
- 生涯取引を強化するため、団塊世代の「友の会」への加入促進と離・退職者の継続取引のための受け皿組織の構築、「友の会」と地域互助会を包含したクラブ組織(仮称・グッドマネークラブ)の検討開始。
- 研修会、学習会、相談会、多重債務防止に向けた消費者教育の展開など、生活応援運動の強化・推進。

④ 全労済

- 「生活保障設計運動」の展開で組合員と接点を密接にし、リタイア後も見据えた「生涯生活保障設計運動」の実践で生涯組合員の実現。
- 高齢者向け商品開発や介護サービス事業を通じ、リタイア後の継続利用。

《各団体の取り組み効果》

- 【連合】
 - 地域住民たる組合員はじめ未組織労働者、市民へのアプローチ拡大
 - 地域に顔の見える存在アピール
- 【労福協】
 - 生涯設計や相談事を総合的に支え、不安や悩みに応えるには、労福協だけでなく、財源、人材の確保の点からも幅広い連携が有益。
- 【労働金庫】
 - 若年・女性・中小企業・非典型労働者との取引拡大(個人加盟も可能な「地域ユニオン」の取引拡大)
 - 離・退職者との取引継続
 - NPO、市民団体との地域横断的なネットワークの構築による広範な相談・サポート支援体制の強化
 - 勤労者福祉運動強化に向けた新たな運動展開と人的資源の活用。
 - 地域オピニオンリーダーの養成。
- 【全労済】
 - 地域組合員との接点拡大による共済利用者の拡大

国100のモデル「地域協議会」(地協)をこのネットワークの中心的拠点とする。

◇ 連合・地協と各団体による共同事業(活動)を運営する「ライフサポートセンター」(仮称)等を設け、一元的な相談対応と各種生活に係る支援を行う。

会館内団体の事業共同化を進めることを要望

この四月から、公益法人(利益を目的としない法人)の会計を処理する基準が大きく変更されることになりました。労働会館内の四事業団体は全て公益法人であるところから、この基準に従わなければなりません。これを機に、各団体が個別に処理している会計事務を、何とか共同化できないか、との協議が行われました。四

名のメンバーからなる「事業団体事務共同化検討委員会」から三月三十一日、将来に向けての活動の強化と効率化のため、次のような答申が出されました。労福協幹事会はこれを受け、この先の組織のあり方と活動体制について協議していくこととします。

答申(結論のみ)

- 労働福祉会館に位置する次の団体においては、社団法人の会計基準の見直し期にあたり、まず会計処理のソフトをはじめとするIT機器の共同化を図ることが望ましい。
 - 福井県労働福祉会館
 - 福井県勤労者旅行センター
 - 福井県労働者福祉基金協会
 - 福井県労働者福祉協議会
 - IT機器の共同化に際しては会計担当者限定し、情報漏えい、端末機の集中化、事務の合理性に対処することが望ましい。
 - 2を前提とするとき、各事業団体の人的流動性が生じてくることは避けられない。その解決策としては労福協帰属と出向方式が考えられるが、いづれにしても労働条件等の整備は必要であろう。これらの課題を克服しつつ将来的には、各事業団体の共同運営、さらに可能ならば事業を一元化することが望ましい。
 - 4.2・3を追求するとき、併行して労働会館のスペースの見直しを検討することが望ましい。
 - 5.これらの計画を実現することと、健全運営を目指すためには労福協における態勢を整えることが必要であると考え。
- 以上 答申します。
2006年3月31日
事業団体事務共同化検討委員会

ユニオンプラザ短信

- ◆ 入居団体会議
 - 年1〜2回開催している入居団体会議を三月二十四日開催しました。
 - 新年度の賃貸料金、自転車置場の整理、問屋団地一斉清掃、駐車場の除草等について、各々からの協力を要請し、了解されました。
 - ◆ 県外から視察団
 - 全国会館協議会の加盟館である彦根労働会館から、十二名の視察団が来館、間もなく建て替えるための参考とすべく、各室を案内しました。
 - ◆ 酒井前福井市長来館
 - 十二年の任期を全うし、二月に退任された酒井哲夫前福井市長が、退任のあいさつに來館されました。当会館建設にあたり補助金でお世話になりました。長い間ご苦勞さまでした。

ろうきん2006年度事業

“生活応援”を基盤に展開します

二〇〇六年度に入り、《ろうきん》も新たな事業方針のもと、様々な行動を展開してまいります。行動の基本は『働くものの生活応援』において、会員組合員の生活利便向上にむけた運動や未組織労働者の方々に幅広く「知ってもらい」活動を展開してまいります。

上の実現や利便性の追及はそのままニーズの変化に現れてきます。さまざまなライフプランの中でのろうきんとして支援できると、年代層によって異なる金融ニーズに資する形成・資金需要といった面でお応えできる提案を行うことを課題としています。また、多重債務の防止・救済にも力を入れてまいります。

二〇〇六年度は北陸ろうきんに統合して5周年となります。改めて『働くもの』のろうきんとして、家計見直し・ローン一本化をはじめとした生活応援運動をアピールしていくとともに、各地域において記念イベントや記念懸賞などの付帯サービスを実施する予定です。

『年金三万件達成』感謝の集い 盛大に開催！ ろうきん友の会

ろうきんへの公的年金等の振込みをして、この会中央会では、これまでの念願の目標であった「年金三万件」を達成したことに伴い、去る三月三日（金）、福井市の厚生年金会館において「感謝の集い」を開催しました。

互いに感謝の気持ちを表しました。これを契機として今後、「地域に根ざした」ろうきん友の会を目標として高齢者福祉の運動を上げていくことも同時に誓い合いました。

光道園に点字図書贈呈 労働者福祉基金協会

労働者福祉基金協会とは… 〇県・市町村・労働者自主福祉事業団体から出捐金をだしてもらい、その果実で活動する。(出捐金 約271,600,000円) 〇出捐した団体から役員を選び、理事、監事等11名で構成。理事長は馬場労働協会長。労働協と共同して事業団体活動推進、文化・体育事業、研修会の開催を行っている。

法律問題の相談多く くらしなんでも相談に47名来場

平成十七年度の第二回目となる、くらしなんでも相談会を、二月の土・日曜日に実施しました。一つの世にあつても人々には悩みが尽きません。今回も47名の方々が来場され、解決への糸口を見つけていただきました。

◆法律問題が多い◆ 県内八市の会場には深刻な顔で受付けする人、比較的さわやかな態度の人、と様々でした。相談の内容としてはこれまでと同じく、法律に関わるものが多く、アドバイスされた処法を参考に解決されることを祈りました。

◆自治体広報紙強し◆ この会を開催するにあたり、毎回心配することはお知らせの方法です。主として新聞広告と自治体広報紙ですが、来場者に問いかけると広報紙が媒体となっているようです。九割の人々が占めており、自治体の信頼度のバロメーター



◆次回七月に実施◆ 第三年次となります。七月に実施が、来る七月に県下九市で実施します。皆さんも広報の役目を果たして下さい。

ともいえます。

消費者講座 だまされるな！消費者 受講生募集

福井県消費生活センター委託事業

Table with 2 columns (North and South) and 4 rows of lecture details including dates, times, topics, and instructors.

お問い合わせ先 福井市宝永3丁目3-1 生協会館内 (社)ふくい・くらしの研究所 消費者講座係 TEL.(0776)27-0626 FAX.(0776)21-1910



全労済福井県本部が今年、創立45周年を迎えます。事務局では様々な企画イベントを用意しておりますが、第1弾として、表玄関のウインドウ・シャッターにペンを問わずP.R.しております。ぜひ窓口にご来店ください。

全労済45周年記念イベント

雪害受付地域別集計表 2006年4月現在

	受付件数	調査済件数	備考
福井市	100	100	旧清水町・美山町含む
あわら市	5	5	旧芦原町・金津町
坂井市	26	24	旧丸岡町・春江町・坂井町・三国町
越前市	33	33	旧武生市・今立町
鯖江市	34	28	
越前町	3	1	旧越前町・織田町・朝日町・宮崎村
南越前町	16	15	旧南条町・今庄町・河野村
池田町	6	6	
永平寺町	26	26	旧松岡町・上志比村含む
大野市	40	38	
勝山市	56	54	
敦賀市	21	21	
小浜市	2	2	
若狭市	3	3	旧三方町・上中町
計	371	356	

平成18年豪雪の報告

昨年12月中旬より降り続いた降雪により、福井県内各地の屋根に多大なる損害が発生しました。全労済でも、各組合員の皆様からの連絡により、4月現在371件の被害受付となっております。この被害受付に対しまして、災害対策本部を設置し3月5・6日の2日間にわたり、中日本管内の労済職員の支援を得て、集中的に現場調査を行い、ほぼ調査終了となっております。なお、今後発生しうる災害受付に関しましては、適時被災された組合員と連絡をとり速やかに対処する体制をとっておりますので、雪害に関することがありましたら、ご連絡のほどお願い申し上げます。連絡先 全労済福井県本部 TEL.0776-26-6123



昨年暮れの大雪により実施を延期していた、第十六回勤労者綱引大会を、三月十二日開催。日程変更でもエントリーチームはほぼ変化なく、三十チームが力を競いあいました。この大会は県内チーム限定の唯一のものであり、綱引連盟の方々も期待しています。

名前のとおりガッツ 綱引大会AWIが優勝

◎ギヤラリーも 熱入る

一般男子、一般女子、職域の部門別に試合は進められましたが、一般の男女チームは実力が伯仲しており、時間が長引く場面もありました。これを観戦している人々も思わず手に力が入ってきました。この男女チームの各優勝チームは十月の全国大会に出場します。

◎職域チームも 面白い

職域チームの中にはかつての経験者がメンバーとなっていたり、全くの俄チームに見えるところもあり、ユーモア溢れる試合を披露してもらいました。AWIガッツチームが優勝しました。

◎狭い場所でも 練習可

長い縄が張られる場所がなくとも練習は可能です。綱引連盟の指導を受けますので、ご希望の組合は一報下さい。

成績結果 福井市北体育館 2006.3.12

	一般男子の部	一般女子の部	職域の部
優勝	鷹巣綱引クラブ	スーパーレディース 戦隊漢	AWIガッツチーム
準優勝	寛兵衛	Pure Women順化	大栄電機
第3位	40シグナルズ	FIRE	信越化学工業(株)



福井労信協の現況

公益法人として、低い保証料率で保証業務を行っています。

平成18年3月末実績

- 保証残高… 18,142件で472億1,848万円の保証をしています。
- 平成17年4月～平成18年3月の保証引受
4,200件で102億5,987万円の保証をしました。
- 平成17年4月～平成18年3月の代位弁済
116件で1億1,640万円の代位弁済を行いました。

代位弁済の推移

平成12年度	152件	162,326千円
平成13年度	125件	108,885千円
平成14年度	143件	149,990千円
平成15年度	145件	132,135千円
平成16年度	115件	187,626千円

●現在の保証料率

無担保ローン：年0.6%～年1.6%
有担保ローン：年0.15%～年0.40%

公益法人としての保証機関は、年2%以上の保証料は認められません。

会員の皆様へ

ユニオントラベル福井
大感謝企画

なんと、パスポート券が
1,500円です

6つの王国 芝政ワールド

近畿日本ツーリスト&
ユニオントラベルスペシャルデー

ユニオントラベル福井は、日頃お世話になってます会員及び組合員の皆様へ、5月13日(土)・14日(日)・15日(月)の3日間「芝政ワールド」のスーパーパスポート券を、なんとお一人様@1,500円にて限定販売することとなりました。当日は、芝政内のアトラクション施設(パットゴルフ、ゴーカート、アーチェリー、クレー射撃などのアクティビティや、ジェットコースター・バイキングなど)全てが利用できるスーパーパスポートですので、追加料金は食費のみ。この機会に、芝政ワールドで楽しい1日をご家族・お仲間等でお過ごしください。

ご利用条件

- 参加資格 組合員ご本人や、そのご家族・友人・知人など
- 参加人員 何名様でも可。(本人、家族、友人、知人など)
- 費用 スーパーパスポート券が…なんと1,500円 大人、小人(3歳～小学生)同額 (通常価格=大人3,500円 小人2,500円)
- 実施日時 平成18年5月13日(土)・14日(日)・15日(月)の3日間いずれか1日のみ。
- 入場方法 芝政ワールド入場ゲートにて、パスポート引換券と当日のパスポートを交換します。
- 申込方法 お電話等にて、直接担当者宛にお申込みください
- 送金方法 お申込み後、担当者へ直接ご入金いただくか、北陸労働金庫各支店のユニオントラベル福井の口座に合計金額をお振り込みください。担当者が入金と引換に、パスポート交換券をお渡りするか、振り込み入金を確認次第、パスポート券の引換券をご送付します。

